

2020年度 日立みらいイノベータープログラム かすみがうら市立下稲吉小学校 出張授業レポート

【内容】

実施校	かすみがうら市立下稲吉小学校
クラス詳細	3クラス106人
出張授業実施日	1回目) 9月10日 2回目) 10月15日 3回目) 11月19日 4回目) 感染拡大のため1月半ばに発表風景を学校が撮影し、その動画を講師が確認。2月講師コメントを撮影し、児童へ届け終了。
企業講師所属	日立建機株式会社

【本プログラムに参加した講師・先生の声】

企業講師の声



- 大人へ教えるのとは異なり理解してもらえることには非常に苦戦しましたが、教え方についてもいい勉強になりました。
- 児童と会話し、問題解決や課題達成の考え方を自分の経験も踏まえて指導することが、結果的に貢献につながったと思います。
- この活動を通して、聞いてすぐ判断、回答するという今後必要なスキルの練習ができただけでなく、いかに分かりやすく説明するか考えるきっかけを頂きました。

小学校の先生方の声



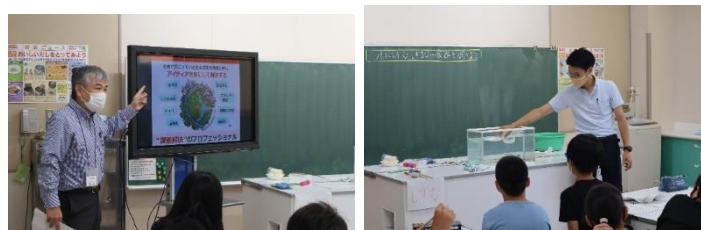
自分たちで動くということになれて、意欲的な行動が多くなったと思います。また解決策を出そうと一生懸命話し合っている姿が印象的でした。アンケートをくり返し行うなど、問題の理由を突き詰めていく姿がみられ、児童達の成長を感じました。

【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業1回目(動機づけ)

■当日の様子

日立建機の澤田様より、自己紹介と澤田様の課題解決の事例のお話をいただき、児童達も真剣に耳を傾けていました。その後、「しずむ」「しずまない」の食器の実験では、児童達は、先生が実験をする水槽をのぞき込み、自分の仮説とあっていた時は「やったー！」と喜んでいる姿が印象的でした。



出張授業2回目(課題設定)

■当日の様子

当日は、密をさけて3つの教室にわかれて、グループワークを行いました。講師もそれぞれのチームに入り、アドバイスを行い、児童達もチームごとに真剣に話し合っていました。はじめは、グループで考えをまとめることにまだ慣れていない様子でしたが、講師のアドバイスを受けて、徐々に活発に意見交換が始まりました。



【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業 3 回目(中間発表)

あるチームの発表例

理想の学校	生き物とふれ合える学校
課題	・今ある水槽が汚い ・植物に水を与えていない ・生き物の種類も少ない
解決策	花を植えたり、魚を増やして、生き物と触れ合うようにしたい。先生や生徒にインタビュー、アンケートを取って意見をまとめ報告したいと思います
講師からのアドバイス	まず、今の水槽の掃除は、どんなルールでだれがやっているのか？現状の整理をしてみましょう。また、今後はどんな植物を植えるのか？も次回の発表に入れるとよいと思います。みんなが飼いたいと思う動物は、全校の生徒が同じようにおもっているのかも合わせて調べてみると、もっと良くなると思います。

【当日の様子】

少し緊張した面持ちで、発表に臨んでいる児童の様子が印象的でした。マスクをしているため声が聞こえづらいので、慣れないマイクをもった発表でしたが、1か月間、児童達が調査、分析して、まとめた内容を各チーム発表しました。講師からは、最終発表に向けて、内容、資料のまとめ方や図、表の書き方についてアドバイスをもらいました。



出張授業 4 回目(最終発表)

※コロナ禍で通常の出張授業ができず、動画をお互い送りあって実施

あるチームの発表例

前回からの改善点	生き物と触れ合う学校にするために、①巣箱、餌場の作成②花を植える活動③職員室前の金魚を全学年で世話をする活動の3つに絞って活動しました。まず①巣箱、餌場は、実際に作成し、パンくずなど餌を置いて実験した結果、燕やスズメなどの鳥が来ました。②花については、アンケートを取った結果8割以上の生徒が花が欲しいと答えました。校庭の何も無い場所に花を植える計画③水槽をきれいにするポスターと金魚の育て方ポスターを作成。当番表も作り、全校生徒で水槽をきれいにしていきます
講評	具体的な解決方法、例えば巣箱の寸法や材料、当番表などが明確でとてもわかりやすく、素晴らしいかったです！ポスターも大きな絵で伝えたいことが伝えられていて良かったと思います。1点アドバイスとして、水槽が汚いという課題に対しては、きちんと当番表をつかって、掃除するという改善案がありましたが、植物については、「水をあげていない」という現状についての解決案がなかったので、ここについて具体的な解決案があると、もっとよいなと思いました！3学期の活動をたのしみにしています。

【当日の様子】

感染が拡大していたため、通常の出張授業の実施はできず、出張授業4回目は動画撮影での実施となりました。小学校で、先生が児童の発表風景を動画で撮影し、その動画を講師達に送り、講師がコメントする様子を動画で撮影、最後に1本の動画に編集し、児童達に見てもらうという形式で行いました。動画の中の児童達の堂々とした姿から、中間発表から講師のアドバイスをうけて更に調査、分析に一生懸命取り組んだ様子が伺えました。